

第三者評価の受審実績	平成 21 年度、平成 24 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■事業所の特色

当法人は、昭和 61 年に設立された町田市在宅福祉サービス公社を前身としています。平成 2 年に市の福祉行政を補完する多様な在宅福祉サービスの実施を目的に財団法人化し、平成 12 年から介護保険サービスに参入、平成 14 年に財団法人を改組して社会福祉法人を設立し、財団の全ての事業を引き継いでいます。



当事業所は、法人が運営する特別養護老人ホームの中に、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、地域包括支援センターの各事業所とともに併設されています。建物 1 階の玄関ロビーに面したワンフロアの広い事務室を他の事業所と共同で使用しています。

管理者のほか 6 人の職員で組織的なケアマネジメント業務を行う体制を整えています。地域の関係機関や在宅サービス事業所等と連携を図りながら、地域で暮らす高齢者と介護者である家族のパートナーとして、利用者の“その人らしい”生き方をともに支えています。